

(5) 会議総括整理

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

本日、発表をしてくださいましたバンコク、釜山、広州、北九州の発表者の皆様にもう一度感謝の言葉を申し上げます。ならびに討論に参加し、素晴らしい意見を出してくださいました皆様にも感謝の意を表したいと思います。それでは、本日の会議の重要部分であるアジア太平洋都市観光振興機構TPO創設に対する提案説明と、討議に入らせていただきます。

釜山広域市鄭聖圭観光振興課長、提案説明をお願いします。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

こんにちは。私は釜山広域市観光振興課長の鄭聖圭と言います。

アジア太平洋都市サミット実務者会議に出席してくださいました会員都市関係者の皆様に心から感謝の言葉申し上げます。本日この有意義な場で、仮称アジア太平洋観光振興機構、つまり、TPO創設のための提案説明をさせていただき大変光栄に存じます。

説明の順番としてはまず、TPO創設の必要性と創設計画案についてお話をしてから、次に今後の推進日程について説明させていただきます。

まず、TPO創設の必要性と創設計画案について説明させていただきます。皆様もご存知の通り、観光産業は情報通信産業とともに21世紀最高の産業として脚光を浴びています。それに伴い、全ての都市は、観光産業を21世紀の戦略産業に発展させるため、多くの努力を傾けています。このような観光産業を育成、発展させていくためにはアジア太平洋の都市と団体が共同で協力してこそ、より大きい成長と発展が期待できると思います。従って、アジア太平洋の都市が観光産業において共同発展のため、アジア太平洋都市サミット会員都市と観光協会、ホテル、旅行代理店など民間が参加するアジア太平洋都市間観光振興機構を創設し、観光振興と関連した各種の政策と事業を共同で推進していくことが、より効率的な方法だと思います。よって、昨年5月に開催された第4回アジア太平洋都市サミット会議で釜山市の安相英市長が提案されたアジア太平洋都市観光振興機構、つまり、TPO創設をアジア太平洋都市サミット実務者会議の公式議題として提案致します。

次はアジア太平洋都市観光振興機構の創設計画案について提案説明をさせていただきます。昨年8月、釜山市がアジア太平洋都市観光振興機構の創設計画案をつくり、アジア太平洋都市サミットの創設都市である日本の福岡市と5回の協議を経て、アジア太平洋都市観光振興機構のTPO創設計画案を作成するようになりました。

TPO創設計画案の主要内容を説明させていただきますと、

- 1) 名称は仮称アジア太平洋都市観光振興機構、英文でTourism Promotion Organization for Asian-Pacific Cities、略称TPOに決めました。

- 2) 設立目的は、アジア太平洋地域の都市と団体が共同でアジア太平洋地域の観光振興のための都市間ネットワークを構築することにあります。
- 3) 会員構成は都市会員と民間会員に区分し、都市会員はアジア太平洋都市サミット会員都市とアジア太平洋地域の都市で、本機構に加入を希望する都市の内総会で承認を得た都市とし、民間会員はアジア太平洋地域の観光協会、ホテル、旅客船社、航空会社、旅行代理店などで、本機構に加入を希望する観光関連事業者のうち、総会で承認を得た事業者を民間会員として構成することとします。
- 4) 組織は総会と運営委員会、事務局で構成し、総会は最高意思決定機構で全会員で構成されます。運営委員会は総会の決議事項の範囲内で機構の事業および運営に関する事項などを決定し、事務局はTPO会長となる都市に設置するのを原則とし、TPO創設後、当分は釜山市に事務局を設置・運営し、事務局運営に関わる経費は当分釜山市で負担することとします。
- 5) 主な機能は会員都市間の情報交換のための事業で、文化観光商品など全ての情報を連携するインターネットサイトを開設し、会員間のPRと新しい観光商品開発のための共同事業を展開する一方、会員都市で発行する各種の観光関連広報物を相互交換し、観光動向や輸入と統計などを調査し研究するなどTPO設立目的にかなう事業を推進します。

TPO創設に関する具体的な計画と規約案はお手元の資料をご参考ください。規約案のうち、第8条第4項の但書部分は「ただし、アジア太平洋都市サミットが開催される年には並行開催する」を「アジア太平洋都市サミットが開催される年には並行開催することもある」に訂正します。

最後にTPO創設による今日以降のスケジュールについて申し上げます。アジア太平洋都市の観光振興機構創設計画案は、本日、アジア太平洋都市サミット実務者会議の審議を経て、来年8月、日本の福岡市で開催される第5回アジア太平洋都市サミット会議の際に、TPO創設計画案を公式議題として上程し、会員都市間の審議を経て、公式発足します。会員都市は、公共及び民間部分が手を携え、会員都市の相互利益のために、観光産業の共同発展について論議し協力することを期待しております。当市が提案しました設立案について充分検討され、TPOが公式的に発足できるように、会員都市関係者皆様の積極的なご協力をお願い致します。以上を持ちまして創設に関する提案説明を終えさせていただきます。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

釜山広域市観光振興課長より提案の説明がございました。この内容についてご意見、ご質問がございましたらご遠慮なくお話し下さい。本日充分に話し合ってみてみたいと思います。ご質問をどうぞ。

● 佐賀 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

TPOは、昨年のアジア太平洋都市サミットで釜山市の安相英市長が提案されました。昨年は、検討課題としてこの

問題が扱われたと思います。佐賀市がこの計画案について異を唱える部分はありませんが、佐賀市がこの話を伺いまとしたのは一週ほど前のことでしたので、佐賀市の内部協議は全く行われていません。ですから、この場で賛成の意を公式的に示すことはできません。そして、佐賀市のように規模が小さい都市と巨大都市との不均衡の問題もあります。このようなギャップをいかに解消すればいいのか考えてみたいと思います。もう一つ、TPO発足以降アジア太平洋都市サミットとの組織的な問題が明確でなかったと思います。サミット傘下の下部組織なのかそれとも別の組織なのか、より明確にお答え頂きたいと思います。もしサミットの傘下機構ならば、来年アジア太平洋都市市長が全部参加されるサミット会議で、TPO関連内容を発表して下さい、正式案として十分に各市が市の立場から望ましい方向に展開していくと思います。以上です。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

まず数人の方のお話を伺ってから、総合的なご答弁と討論に入りたいと思います。まず福岡市の波多江課長どうぞ。

● 福岡 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

TPOと関連し、福岡市と釜山市は、釜山市の課長のお話にもございましたが、5回にわたり多角的に協議を行い、実務者会議の場でも規約案を説明することで一応まとまった状態です。その間、釜山市のご尽力やご協力に感謝申し上げます。具体的に事業と関連して、私が補足したいと思います。資料は二番目のページ、主要機能にあります。その中で、事業としていくつか内容がありますが、福岡市は会員都市とTPOに参加を希望する都市、その他民間企業がありますがアジア太平洋都市の共同発展に向けていろいろな事業を考えています。それで佐賀市がおっしゃったとおり、規模が小さくても利益関連事業計画は当然会員皆様の意見を十分に調整し、総会と機構レベルで進められます。この事業は規模の大きい都市だけの事業ではなく、共同利益を目指した事業なのです。そしてもう一点、大変恐縮ですが、都市サミットとTPOとの関係について申し上げます。TPO機構は来年サミット会議で正式に成立します。正式に発足すれば人格のある団体としてアジア太平洋地域の観光産業において巨大な組織となるわけです。サミットと別途の組織で運営されるものとは思いません。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

佐賀市からいくつかご質問がありました。波多江課長のお話理解して頂けたでしょうか。補足説明が必要でしたら申し出下さい。

● 佐賀 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ありがとうございます。基本的に私は皆様とは大きな違いがあると思います。内部協議がされてないので、佐賀市の代表の立場からこの場でYESとはいいいにくいということをご理解下さい。組織の一員である私としては、内部決定があつてこそ自信感と責任感をもって協議できるのです。ご了承頂きたいと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

よく分かりました。次は、北九州お願いします。

● 北九州 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

北九州市です。佐賀市がお話されているように、TPOがアジア太平洋都市サミットの独立機構なのか下部機構なのか問題になっていると思います。独立か下部機構かによって今後の在り方が変わってくると思います。従って、組織論について正確に規定しなければならないと思います。独立した一つの機構として展開されるだろうと福岡市はおっしゃいました。それは私たちが考えていたこととは全く違う形で展開されるわけですが、そういう部分について皆様はどうお考えでしょうか。これを正確に話し合ってから次の段階に入りたいのですが、また、佐賀市もおっしゃいましたが組織論規定がなく、北九州市としての意思決定もされてないので、この場で賛否を明確にすることはできないことを申し上げます。以上です。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

釜山市、お願いします。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

こんにちは。釜山市の協力課長でございます。釜山市国際協力課は福岡国際協力課とともに、アジア太平洋都市サミットの運営について、その間いろいろ協議しており、昨年、釜山で開催された第4回アジア太平洋都市サミットで提案されたTPOについて、その間、釜山市観光課と福岡国際課、観光課そしてその他の都市との意見を調整してきました。まず北九州と佐賀市のご質問の中で、組織性格に関する問題についてですが、TPOはアジア太平洋都市サミットで提案され、アジア太平洋都市サミットの決定により誕生した機構です。それでアジア太平洋都市サミットと関係のない組織にはなれないと思います。ただ、法人の性格を考える場合、一つのアジア太平洋都市サミットの下部ブランチにするか、それともアジア太平洋都市サミットと関係ある組織となり別途の法人を持つ組織になるかについては、具体的に協議すべき事項ですが、基本的にアジア太平洋都市サミットと深い関係があり、アジア太平洋都市サミットから生まれた機構ということについては意見が一致しています。そして二番目には、実務者として、TPO規約案に対して前もって十分な時間がなかったので、TPOの設立と関連する内容に基本的に異見はありませんが、組織の決定を下す十分な時間がなく、この場でYES、NOを決めることができないのは、実務者として当然のことであると思います。私たちが実務者として国際会議に参加する時には、実務者レベルで理解し、実務者レベルの決定を下すわけで、それぞれ都市に戻り、内部組織の意思決定は当然別に残っています。例えば釜山市が事務局を設ける計画とか、アジア太平洋都市サミットを運営するために予算を確保するとかなどの計画も私たちの市議会の承認を受けるなど、内部決定は当然なことですが、内部決定を行う十分な時間がなかったので、この場においての原則は理解できますが、意志を表明することはできないというのは、実務者会議の持つ限界だと思います。それで実務者として、実務者レベルで合意はできると思います。以上、釜山市国際課長でした。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

要約しますと、TPOとアジア太平洋都市サミットは全く別の組織ではありません。母と子の関係のようなものです。都市サミットが大きな枠組みであり、その案の下にTPOが含まれるわけです。内部的な手続きが残っています。ここで議決されるとしても、結局は、来年8月アジア太平洋都市サミットで成立しなければ、有効ではありません。本日は実務者レベルの案として理解して頂きたいと思います。経費に関しても、釜山市が当面負担すると申し上げました。会員皆様に重荷を担わせるつもりはありません。ただ、アジア太平洋都市の観光における共同発展を図るという意味で発足し、昨年の会議で成立しました。本日、特別な異見がなければ、そのまま実務者案として受け入れ、各都市にお戻りになってから充分協議され、来年8月には最終的に決定できるようにして頂きたいというのが釜山市の考えです。

その前にも話し合いを進めることはできますが、皆様もご存じのように、いろいろな国内外の事情により、このような会議を再び召集するのは少し難しいのではないかと思います。

ご意見がございましたらどうぞ。

● 北九州 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

すみません。今おっしゃったとおり、その在り方については十分に理解しており、北九州も賛成してはいます。先ほど申し上げましたように、組織の位置関係において、アジア太平洋都市サミットの下部組織か独立組織なのかによって、今後、会議開催についても同時開催か別途開催か、また、独立組織なら独立的に動くわけですので、都市サミットがコントロールできなくなる等いろいろ考えられます。組織の見方、その位置関係の見方については、ある程度は明らかにすべきだと思います。

それぞれ帰国されてからも、たぶんこの問題が最も大きく取り上げられることになるのではないかと思います。それで、この場で、ある程度は組織論について皆様の考え方を統一する必要があると思います。勿論、都市サミットで新しく誕生する機構ですが、一つの支部のような位置づけなのか、或いは独立した団体なのか方向を提示して下さらなければ帰って報告すらできませんので、私も市に戻って内部の意見をまとめるのが難しいと思われるからです。ご了承ください。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

釜山市観光課長でございます。議長がおっしゃったとおり、アジア太平洋都市サミットとも関係があります。なぜならば、この機構は、アジア太平洋都市サミット会員都市として構成され、中枢的な機能をしています。しかし、より活性化し発展するために、その他のアジア太平洋都市地域も参加できるような条項を盛り込んだわけです。アジア太平洋都市サミットと関係はありますが、それに従属するわけではありません。別途運営されますが、関連性を保たせて運営するのです。以上です。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

この点について福岡市から補足して頂きたいと思います。

● 福岡

釜山市と数回論議を重ねる中で、やはりこの部分が最も合意に至るのが難しい部分ではないかと思いました。なるべく議長に、釜山、福岡でなく、他の都市関係者の方々がどう思われるのか、ご意見を伺って頂きたいと思います。TPOは、アジア太平洋地域の観光振興のための組織として作り上げようとしています。この部分については、皆様が同意や共感できると思います。観光というのは、行政だけでは足りなく、コンベンションビューロー、観光業界、民間企業等、多様な部門が力を合わせてこそ構築できるものだと思います。そのような観点から、TPOは一つの組織として、より大きく発展しなければなりません。ある意味では、完全に独立した団体にするのもいいと思います。創立母体はアジア太平洋都市サミット会員都市が

中心になっているので、都市サミットとTPOは、議長がおっしゃったように、母と子の関係だと思います。子は多様な考えを持つ自立的な発展を果たさなければならず、母はその子に対してアドバイスできると思います。子どもが自立的に独自の発展できるシステムが必要だと思います。他の方の意見もここで伺ってみたいと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

会員都市の皆様は、争点事項については理解していらっしゃると思います。両側の意見を伺いましたので、中国、ベトナム等のご意見を承りたいと思います。はい、ウルムチ市、どうぞ。

● ウルムチ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

TPO企画案の説明有難うございました。基本的にはその内容に同意し、良い素案であると思います。基本内容には異見がありません。しかし、二点お話ししたいと思います。まずは、素案の6ページの5条項と6条項、加入と脱退問題をご覧ください。加入と脱退問題において、事務局が申請書を受け付け、総会がこれを受けて、加入と脱退を決めるとなっていますが、今の条項には、ただ事務局長が申請書を受け付け、決定するとなっています。これが正しいのかどうか分かりません。二番目6ページ8条項3番には、主催国の代表が会議の議長を務めるとなっていますが、主催期間中、主催都市の会員代表が議長を担当できるとするのはいかがでしょうか。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

有難うございました。5条加入と脱退についておっしゃいましたが、加入において、事務局長は、前項の申請を受理し、最初開催される総会において、当該申請を付議する。加入自体を事務局長が受理するのではなく、加入を申し込む申請書を禁じることができない。つまり、申請を受けて最初開催される総会に付議するという内容です。そして、脱退の場合は、脱退意思のある会員に対して総会がそれを承認するしないは意味がありません。脱退しようとする会員を総会で止めることはできません。それで、脱退は事務局長に文書申請したものに限り脱退できると規定しています。8条3号総会議の議長は開催地の都市会員の代表が担当する。担当するというのと、担当できるというのは大きな意味はないとしました。文句を変えるようにします。

● 議長

次は中国大連、お願いします。

● 大連 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

会員都市間の観光産業における協力を促進するためのご意見だったと思います。

今おっしゃいました独立機構か下部機構なのかという問題と関連し、私は今後もサミットの指導を受ける機構でありたいと思います。この機構は、アジア太平洋地域都市サミットにおいて提案される、観光産業に関する様々な目標、企画、計画を実施するための機構だと思います。アジア太平洋地域のサミット会議は、観光産業における協力を促進し、これを通じて、その他の協力も導き出すことができると思います。例えば、貿易投資、経済協力においても役立つものと思います。それで、アジア太平洋地域サミット内部の機構にいた方が良いのではないかと思います。今回の会議は、実務者会議ですが、この会議において重要なのは、会員都市間の協力を促進することです。それで、具体的かつ細かな問題や異見がある場合、書面形式でも解決できると思います。次回に、福岡で開催される会議で決定できる事項だと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

次はジャカルタご意見をお願いします。

● ジャカルタ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

TPOに関するご意見有難うございます。釜山市が、アジア太平洋地域が、世界観光産業において重要な位置を占めるためのイニシアチブを提示して下さったものだと思います。しかし、TPOとPATAの違いは何でしょうか。アジア太平洋地域観光を取り仕切る機構ですが、ここにいるほとんどの都市はPATAの会員都市であるのです。TPOと関連して、特別な専担班や委員会を設立し、TPOの目標や効率的に運営するための条件をお持ちでしょうか。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ご答弁をお願いします。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

お答えします。アジア太平洋地域に存在する観光プロモーション組織の目標は、事実上同じです。PATAは、特定の範囲や規制がなく、アジア太平洋地域のあらゆる都市、あらゆる法人、あらゆる関連研究所などを網羅しています。一方、TPOは福岡市が提唱され、25の都市会員を有するアジア太平洋都市サミットといった特別な機構を母体にしており、より緊密で、より絆が深い組織を基盤に、範囲を広げていくという考え方なので、PATAに加入した都市や民間団体がTPOに加入するといった、二重的性格を持つものではないと思います。TPO構成のためには、当然、細部運

営規則や各都市の立場、追求すべき目標や具体的な事業を処理する専担班を釜山市内に設け、ここで必要な情報や意見を収集し、必要ならば各都市を訪問して十分に話し合う予定です。そして、その予算まで準備しています。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

充分なお答えになりましたでしょうか。

● ジャカルタ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

はい、有難うございました。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

次は、バンコクお願いします。

● バンコク ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

有難うございました。バンコク観光局を代表し、お話をさせていただきます。まず、TPO計画案について同意を表明したいと思います。いくつか指摘したいのは、まず会員加入、脱退関連条項には、中国、マニラ代表は会員になるために、総会の承認を受けなければならない、そして脱退は総会議承認を受けなければならないと公式化すべきだとおっしゃいました。それで、アジア太平洋都市サミットが、このような方法で運営され、また、TPOがどのように運営されるのか、会員都市が総会の議決を通じて分かるだろうとおっしゃいました。重要な内容です。

そして、民間会員についてですが、TPOの成功の重要な鍵は、民間会員の役割にあると思います。多くの大学、観光事業者、関連機関があります。各界が共同事業に参加するようになれば、それは本当に有益なことだと思います。なぜならば、観光事業というのは、一つの分野からなるわけではないので、各界各層、各都市の関心を集めなければなりません。PATAはBusiness分野に絞っていますが、TPOはBusinessをはじめ文化を含んだ全般的な問題を取り扱わなければなりません。国家間都市間の関係増進を追求する全般的な方向に向かうべきだと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ご意見有難うございました。特にお答えする質問はなかったと思われませんが、いかがでしょうか。

● ジャカルタ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

はい、ご答弁願います。

● 釜山 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ご答弁させていただきます。会員の脱退問題において、公式的に総会議承認を得なければならないのご意見でしたが、先程も申しましたように修正致します。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

国家を代表する都市が意見を十分に述べました。その他の意見おありの方はどうぞお話し下さい。意見がなければ、議長として提案させていただきます。この案は、実務者案であり、最終的な効力が発生するのは、来年8月アジア太平洋都市サミットで決定されてから有効になります。本日、十分に述べて頂いた内容については、基本的な枠組みは維持しつつ、来年8月まで十分に話し合い、来年8月上程したいと思いますのでご承認頂きたいと思います。福岡、佐賀、北九州などが新しい案を8月に提示することにしたいのですが、この意見についてご意見頂きたいと思います。

● 佐賀 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

釜山市と福岡市関係者の、TPO創設と関連した努力に感謝申し上げます。先程、述べましたとおり、この内容に対して、この場で、佐賀市レベルの最終的な決定はできないことを申し上げます。ここで論議された内容について、市に戻り、十分に論議するとは思いますが、この決議に対して賛成かどうかの意は表明できません。ご了承下さい。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

はい、分かりました。北九州はいかがでしょう。

● 北九州 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

大連市が提案されたように、書面をもって十分に提案できると思います。あらゆる提案内容を、各都市間の十分な話し合いの段階だと思えばいいと思います。修正する内容も十分に理解できます。来年8月でなく、今からでも修正案を早速準備して、各都市間で具体的に意見を交わしたいと思います。日本の場合、福岡を窓口にして都市間意見を取り合わせる事ができるでしょう。本日の内容を土台にし、修正案をもって、もう一度話し合ったほうがいいと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

福岡市、どうぞ。

● 福岡 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

北九州がおっしゃったように、私たちの意見もほぼ同じです。本日、いろいろな意見は出されましたが、それを修正し来年8月第5回都市サミットで提案することにすれば、また、今日のように、結果や合意を導き出すことができないだろうと思います。従って、来年8月、本会議で正確に合意を導き出すためには、関係都市間の事前協議を進める必要があると思われます。福岡市が、日本内の会員都市間の窓口役割をして意見を取り合わせます。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

いろいろな意見が示されました。十分に協議したいという意見だったと思います。本日論議された内容を釜山市が

修正し、福岡が中心になって日本内都市の意見を集めて単一案を作成し、釜山市と十分に協議して、その他の都市に内容を送り、書面議決を受けることにしたいのですが、いかがでしょうか。

● 福岡 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

はい、その方式で進めたいと思います。その前に本日協議結果をまずお送り下さい。その協議結果をもって、次の段階に進めると思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

本日会議結果はまとめています。本日の内容については、明日、出国される前に、各会員都市にお配りします。それを検討し、ご意見下されば、その意見を受け入れ、修正するようにします。他の年はいかがでしょうか？

● ホーチミン ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

修正された素案が各都市に送られ、それが検討された後、フィードバックできるようにしたいと思います。

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

本日の討論内容については、明日、出国される前に資料をお配りし、その後、福岡と十分に話し合っ釜山市なりに検討し、後程、会員都市にお送りします。その案を会員都市で検討した後、修正する部分がありましたら、フィードバックを受けて、最終案を来年8月に出すことにします。ご異見おありでしょうか。同意する方は拍手をお願いします。有難うございました。

TPOについて、高い関心を注がれ、十分に意見が述べられたので、来年8月にはすばらしい案が出てくると思います。各会員都市皆様は、大原則には同意されるが、異見があることについては充分理解できます。協議を通じて来年8月に完璧な案が出されるよう、皆様にご協力をお願いします。

最後に、会議結果について総括する時間が必要です。約80分にわたって討論が続きましたので10分間コーヒーブレイクを持ちたいと思います。4時30分から会議を続けたいと思います。

(6) 第5回 アジア太平洋都市サミットの案内

●議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ●

本今朝9時から7時間にわたり、様々な論議と意見交換がありました。最後まで真摯に会議に臨んで下さった皆様、有難うございました。本日の会議内容について総括整理をしたいと思います。

アジア太平洋都市間の観光交流拡大方策をテーマにかかげ、本日、アジア太平洋都市サミット第4回実務者会議でテーマ発表をして下さった4都市関係者の皆様、そして発表内容について意見を述べられた参加都市の皆様、そして最後までご静聴下さいました傍聴客の皆様にご感謝申し上げます。公式的な国際会議でよく発生するコミュニケーション不足を解消するために、各都市がそれぞれ紹介する時間を持ちました。お互い親密感を高め、参加都市間の友誼を高められることができればと思います。

午前会議の内容をまとめます。まず孫大鉉漢陽大学国際観光大学院長は基調講演で、21世紀の新しい都市国家の時代における都市間の関係の重要性を述べ、アジア太平洋都市間の観光交流を拡大するため、第一、協力マーケティングやブランド戦略の開発、第二、インターネットによるDIS、つまり観光情報提供コンピュータ基盤システムとホームページの開発、第三、緑色観光と文化遺産観光、第四、公社間の戦略的な提携、第五、サービスインフラ構築を提案しました。

また、バンコク市も基調演説と同じ考え方にに基づき、観光振興のためにアジア太平洋会員都市ができることを提示されました。主要内容は観光の成功事例等観光情報共有を通じて観光資源を掘り起こし、観光商品開発を促進し、観光分野の国際投資促進、観光マーケティングの共同推進、国際会議を通じた小地域内の協力増進、会員都市間の観光阻害要因を改善する、等の意見を述べられました。そのためには、政府と民間部門間ネットワーク構築、国際機構と政府間のより効率的な協力と調整が必要であると述べられました。バンコク市の発表と関連して、マニラ市では、言語障壁克服するために観光業界従事者の教育訓練、特に英語教育を強調し、ジャカルタ市は、姉妹都市間、大学間の交流を提示されました。そしてホーチミン市は、観光振興や交流の際の財政調達問題について触れました。

次に釜山広域市は、会員都市の観光産業育成の在り方を分析し、観光ルートを開発するための共同努力の必要性を提起しました。祝祭等の共同開催、観光専門人材や観光行政分野に対する協力関係構築など、ネットワーク構築を強調しました。アジア太平洋観光振興機構の早期設立を改めて提案されました。そしてTPOの課題として、会員都市間の国際航路開設のための事前協議、会員都市間の共同FAM Tourの実施、または定例化、観光商品やルートの共同開発を通じた共同マーケティング活動を展開、アジア太平洋都市帆船大会のような共同祝祭、またはイベント開催を述べられました。釜山広域市の発表と関連し、福岡市の観光課長は、都市間の情報交流のため、contact pointの重要性を強調し、情報交流窓口と担当者の名簿作成を提案されました。このような提案と関連し、TPOホームページを開設して情報交流の窓口や担当者の名簿を簡単に探せるようにするのが一つの解決策として出されました。また

ウルムチは、アジア太平洋都市間の効率的な協力に向け、各国の外交政策関係者の会議への参加が必要だと提案されました。ウラジオストックは、アジア太平洋地域の観光振興のためにはなんらかの機構が必要だと、TPO創設に共感を示しました。

広州は、産業を経済の主力産業に育成するため、中長期発展計画により、段階的に観光基盤施設を拡充し、観光産業を広州の主力産業に育成していると述べました。歴史遺蹟、文化等を開発し、伝統観光商品のアップグレード、ファッションショー、映画祭、スポーツ競技等の市民の都市文化観光商品の開発、生態休養等と連携したテーマ観光商品開発など、観光振興のための対策を提示されました。広州市の発表と関連し、傍聴席にいらした観光業界従事者が、広州市の観光客誘致方策に深く関心を示しました。佐賀市はグローバル化時代において佐賀市の観光政策の在り方とTPO創立案について、どのように定立していけばいいのかについて考えていると述べました。

最後に北九州市は、1988年、年間330万名だった観光客が10年後の1998年1000万名を越える国際観光都市として大きく変化した北九州市の事例を上げ、観光の必須条件3つ、つまり観光基盤施設、イベント、市民が観光客を向かえる姿勢を述べられました。今後、北九州の観光振興策として、単純な観光を克服し、体験や学習要素を強化した学習観光、自国内の都市間の民間業界間における広域的な連携方策の摸索、会員都市間の文化交流等を通じた観光交流の拡大等の対策を提示されました。北九州市の発表と関連し、大連市は、北九州市の事例を聞ける本日のような会議は観光産業を振興する上で大変有効だったと発言され、ジャカルタは、観光人的資源開発に高い関心を示されました。そして本日、基調講演と主題発表の中で共通的に提示されたように、観光産業振興のためには都市間観光ネットワーク構成が必須であると思われます。

このような中で、現在推進中にあり、第4回アジア太平洋都市サミットで共同宣言文として採択したアジア太平洋都市観光振興機構、つまりTPO創設について論議を行いました。TPOがアジア太平洋都市サミットの傘下組織であるか独立機構であるか、TPO創設に同意するためには各都市内部の意思決定が先に行われるべきとの意見、加入と脱退の決定等、機関加入の際の条件の具体化、PATAとの関係とTPOの具体的運営計画、会員都市の責任と役割、長期的な資金確保策関連等、多くの意見が述べられました。これと関連して、TPO創設は、来年第5回アジア太平洋都市サミット本会議で最終決定されるので、釜山広域市が提案したTPO案に基づき、本日会議で論議された内容を、書面により、各都市の意見を十分に集め、書面措置するようにします。

以上、本日会議内容を総括整理しました。時間がかなり遅れてしまいましたが、福岡アジア太平洋都市サミット事務局より、来年第5回アジア太平洋都市サミット会議についてご案内がございます。

● 福岡 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

有難うございました。本日この会議に参加された皆様。長時間にわたりご苦労さまでした。昨年、都市サミットにつ

つき、今回、実務者会議開催して下さいました釜山広域市に改めて感謝申し上げます。来年の第5次アジア太平洋都市サミット会議開催については、各参加都市関係者の皆様に連絡をとっていますが、この場をお借りして正式にご案内致します。

来年8月30日金曜日から9月1日日曜日まで3日間にわたり、福岡で第5次アジア太平洋都市サミット会議を開催される予定です。会議は初日は開会式、基調講演、歓迎レセプションがある予定で、2日目は分科会議、全体会議、共同宣言文の採択、閉会式、記者会見、送別会があり、最後の日には視察や見学がある予定です。特に、2日目の全体会議では、本日論議されたTPOなどを、各参加都市のご協力を頂いて、是非設立できればと思います。全体会議や分科会議テーマ、基調講演者については検討中です。参加都市関係者の方々は、ご希望のテーマや講演者に関するご意見、ご要請を下されば、それをまとめて決めるようにします。第5次アジア太平洋都市サミットが皆様に有益な会議になりますよう力を尽くします。来年福岡でまたお会いしましょう。有難うございました。

(7) 閉会

● 議長 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

1994年度にアジア太平洋都市サミットを創設され、これまで成功的に導いて下さっている福岡関係者皆様に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。特に福岡事務局のフクモトカユキ国際部長に深く感謝申し上げます。

これでアジア太平洋都市サミット第4回実務者会議が終わり、一日で議長職から退くことになりました。個人的には少し物足りないような感じがします。任務を終えながら一言申し上げます。21世紀はアジア太平洋時代、お互い心を開き都市間の壁を崩して真なる友として、観光を通じて共同繁栄の金子塔を共に築く、一粒の種になることを確認する場になりえたなら、議長としてこの上ない光栄でございます。早朝から長時間にわたり、会議進行に積極ご協力下さり有難うございました。全ての都市の発展と参加された会員代表者皆様のご健勝をお祈りする意味で、大きな拍手を持って会議を終えさせていただきます。